

堂々の3連覇



▶V3を喜ぶ撮影・石川

MVP 下田 得点王 仲川

関東大学サッカーリーグ戦の全日程が11月24日に終了した。専大は16勝3敗3分で勝ち点31を獲得し、2位に15差をつけ、リーグ戦3連覇を達成した。

MVPを受賞した下田は「選ばれたのはうれしいが、もっと成長しなければならぬ」と浮かれた様子ではなかった。圧倒的な優勝のように

思われるが、今季は故障者が多く、ベストメンバーが組めない試合も多かった。それでも「試合に出ることのできる4年次生が少な



得点王の仲川(左)撮影・阿部(秀)

下級生が頑張ってくれてくれた」と長澤主将。新人賞を獲得した小口(DF)は「チームの状況もあり、幸運にも試合に出ることができた。4年次生とともにプレーする時間は残りわずかだが、たくさん吸収したい」と今後の成長を予感させる言葉を残した。また、連覇中の王者を

サッカー・関東大学リーグ戦

個人賞

- 【MVP】下田北斗(人間科学4・大清水高)
- 【得点王】仲川輝人(商3・日体荏原高) 15得点
- 【新人賞】小口大貴(経済1・生田東高)
- 【ベストヒール賞】長澤和輝主将(経営4・八千代高) ※2年連続
- 【ベストイレブン】GK 福島春樹(法2・静岡学園高)、DF 北爪健吾(法3・前橋育英高)、MF 長澤主将/下田、FW 仲川



▶MVPの下田撮影・阿部(秀)

次の標的はインカレ

戦いの場は全日本大学選手権(インカレ)へ移る。リーグ戦得点王の仲川は「1試合1得点を目標に、チームの勝利に貢献できるような活躍を

たい」と決意を新たにしている。源平貴久監督は「インカレには関東リーグの覇者としての誇りを持って挑んでいく」と語った。(阿部秀祐・文)

インカレ日程

【2回戦】▽日時12月18日(水)13時30分▽会場Shonan BMW スタジアム平塚▽対戦校 関西大(関西地区第4代表)対岩手大(フリースクール)の勝者 ※1回戦はシード

フェンシング・全日本学生選手権

男子エペ 団体 32年ぶりの優勝

男子サーブル個人 張真が念願のタイトル

11月11日から15日まで、駒沢屋内球技場で全日本学生フェンシング選手権が行われ、団体で男子エペが32年ぶりの優勝、女子フルレが準優勝、個人では男子サーブルで張真龍太(経済3・玉野光南高)が優勝を勝ち取った。



▲好成績を残したフェンシング部

決勝の相手は日大。試合は序盤、専大の4点リードで進むが徐々に詰り、25-24と追いつき、女子フルレが準優勝、個人では男子サーブルで張真龍太(経済3・玉野光南高)が優勝を勝ち取った。



▶男子サーブルで優勝した張真

【男子サーブル個人】張真の決勝の相手は10月の関東学生選手権の決勝で敗れた安藤(法大)。「前回の対戦で自分の弱点を研究していたので、5点リードされても焦ることはなかった」と振り返る。上原はこれまでを振り返り「4年間本場に乗り返り、このメンバーだったから勝てたと思う」とコメントした。

卓球・全日本学生選抜選手権 実力発揮 鈴木が優勝

全日本大学総合卓球選手権(個人の部)のシングルス16位以内の選手が、外国人留学生ら選抜11月23、24の両日、日野市市民の森ふれあいホールで行われ、女子で鈴木李茹(商1・青森山田高)が優勝を果たした。予選を危なげなく通過した鈴木は、決勝トーナメント3回戦でチームメイトでもある劉利莎(商3・日南学園高)と対戦。「1セット目は簡単に取られたが、2セット目からは落ち着き、練習だと思って自分のプレーを心掛けた」と、この対決を逆転で制した。勢いに乗った鈴木は続く麻(金城大)との決勝戦も

4-2で勝利し、頂点に立った。「レベルの高い大会で優勝できたので、自信になった。内容的にも練習の成果が出せたのでよかった」と語った。また、女子の劉、男子の王凱(商3・新潟産大)がともに4位に入賞した。

庄司が準優勝

全日本大学総合選手権

この結果に、「チームのみんながサポートしてくれて自分の力を出し切ることができた、いいプレーにつながった」と勝因を語った。(湯澤時生・人間科学)